

三十八年戦時日誌

(第...)

第二回

自三月... 四月... 日

於旗艦空置

第一艦隊司令官出相重遠

南遣支隊、南遣隊、南遣隊

本行動、本職加、海峽方面ニ於ケル任務ニ次

テ受命遂行セルニシテ其前後ノ関連ヲ明コセン

為メ第一回戦時日誌、末尾ニ記セル二三ノ事項ヲ挙

ケ茲ニ之ヲ重記スルトセリ

二月廿日午前十時廿分艦隊司令官長官

右ノ電刻ヲ録ス

大井艦刻迄、基キ真官ラシク置置亞米利加

丸八幡丸ヲ率ヒ東来ノ敵ニ対シ洋動感赫ノ目

海軍

的り以て南洋に派遣セントス依テ三須司令官ラシテ
 貴官に代り海峡の哨戒任務ヲ司ラシム貴官ハ
 同司令官ノ中敷薩到着ヲ待テ哨戒任務ヲ司
 キタル後望置ヲ率ヒ佐世保ニ来リ速ニ準備シ
 完成シ直接大本營ノ指揮ヲ受ケ行動スルハ暢
 丸亞米利加丸ハ佐世保ニ於テ待命スル様訓在ニ置
 ケリ尚ホ千歳ヲ加フル様大本營ニ内申ナリ
 同廿日午前十時、時、鎮海塘より飛洋ノ連絡ニ
 中丸ヲ遣リ左ノ無線電信ヲ據テ覆訓ヲ受ク
 南洋派遣艦隊ニ更ニ千歳ヲ加フ
 正千歳尾崎灣朝鮮海峡方面ニ於ケル任務ヲ三須司令
 官ニ引續ヲ了シ午後六時半望置ヲ率ヒ佐世保ニ向ケ尾崎
 灣ニ到着ス千歳ハ午後五時中敷薩軍艦佐世保ニ回航セシム

イキル ○イキル 命官

先皇鎮海藩刻着の三箇月刻在り連日省大尉遊艦

黄雲の急散り報り午後六時子午の警報云々

訓令より直に入港せり

聯隊機密第一二二號

出羽第一艦隊司令官の刻令 三十八年二月廿日 於鎮海

一別紙大本營訓令に基き其官に望置し我亞米

利加丸八幡丸の率に南洋の行動せよ以支隊の南

遣支隊と稱す

二貴官に封州海峡哨戒任務に三須第一艦隊司令官に

引継ぎたる後望置し率に依世保に回航し遠

航の準備を完済し直接大本營に指揮を要す行動

ス(一)

三亞米利加丸八幡丸の遠航の準備を悉く依世保に

待命に又貴官、要求に應じ、載炭量大十九噸、山灰
船一隻に準備に其隊に随伴せしむる様小倉、特務
隊司令官に刻命に置けり

四支隊の行動日程、航路、其他討画等、豫定せら

本誌ニモ報告スベシ

聯合艦隊司令官 東郷平八郎

別紙

大海訓第六号

一 諸情報に接せしむるに、浦垣艦隊に敵艦隊中、軍港「山口をホイ」

及ボカツイール、二隻ハ未ダ修理ヲ終ラズ、「ロシヤ」ハ時々

港外ニ出動スルモノ、如ク東航中、敵ノ第ニ太平洋

艦隊ハ、今尚「マカスカ」島北西岸附近ニ在リテ、

意刻燒ニ從事スルコトアルモノ、也

二敵ハ五名ノ次先案内者ヲ任用シテ蘭領トシテアルニ
時命セシメ西貢上海等ノ各地ニ於テ多量ノ軍
需品ヲ準備シテ蘭領東印度諸島以東ニ於テ
艦隊ヲ補給セントスルモノナリ

三我艦隊將來ノ行動ヲ對シテ敵ヲ疑惑セシメ且ツ今
後ノ作戰ニ資スルタメ支那海南部諸要地ノ偵
察及ビ威嚇ノ得シハ敵ガ其艦隊專ラ東洋來着
ニ先チハバツウヤハ方面ニ對シテ豫メ其軍需品ヲ輸送
セントスルノ企圖ヲ威嚇攪亂スルノ目的ヲ以テ巡洋
艦一隻仮裝巡洋艦亞米利加丸ハ幅丸ヲ以テ伏
せ保り澎湖島ヲ徑テ新嘉坡方面ニ行動セシメント
ス

四貴官ハ右南洋派遣諸艦ヲ以テ急速抗世保ニ於テ

海軍

航海準備り完成せり

五 右派遣艦隊佐世保出發後、行動に周りハ直接

大本営ノ指揮ヲ受ケルベシ

六 襲撃官ハ右派遣艦隊ニ入ルニ巡洋艦ヲ指定シ

報告スベシ

明治三十八年二月十八日

東京大本営ニ於テ

海軍大臣 東郷平八郎

聯艦隊司令長官 東郷平八郎

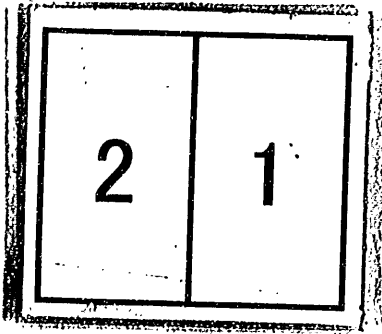
二十二日午前八時午歳笠置ヨリ黒島沖ニ於テ自差艦

ヨリ行クニ亞米利加丸又清水ヨリ佐世保回航ノ途

自差艦ヨリ行ヒ終リ亞米利加丸笠置ニ到ル

佐世保ニ入港午歳ハ後ニ午後四時半入港セリハ哨丸

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

豫定航路表

地名	距離	航行時間		着日時				備考	
		日	時	日	時	日	時		
扶地塔	820	10	3	10				1 8AM	
島公	300	9	1	9	4	6PM		7 8AM	在泊中... (handwritten notes)
香港	220	10	0	22				8 3PM	
海島東端	290	10	1	5				9 3PM	
Tiger 島	140	8.7	0	11				10 8PM	
Rai 島	150	8.7	0	17				11 Noon	
Varella 岬	100	8.7	0	12				12 3AM	
Padaran 岬	70	8.7	0	8				12 3PM	
Kega 角	70	8.7	0	8				13 1AM	
Saigon 沖	90	10	0	9	13	9AM		13 11AM	在沖中... (handwritten notes)
Condre 島	280	7.5	1	14				13 8PM	
Tron 島	470	10	1	23	13	10AM		16 8PM	在沖中... (handwritten notes)
Aor 島	70	7	0	10				18 7PM	
Holeburgh	80	7	0	7				19 3AM	
Singapore								19 9AM	

豫定航路表

地名	距離	航行時間		着日時				備考	
		日	時	日	時	日	時		
White Rock	120	10	0	12				19 6PM	通信... (handwritten notes)
Anamba 島	60	10	0	6				20 6AM	
Marundum	185	8	0	23	20	Noon		21 10AM	30°N, ... (handwritten notes)
Sirik 岬	145	10	0	13				22 9AM	
Barran 南	200	10	0	20				23 0AM	
Labuan 島	120	7	0	17				23 8PM	
Balabac 島	285	6.5	1	20	24	1PM		25 Noon	在沖中... (handwritten notes)
Bombay 堆	90	12	0	8				27 8AM	
Seahorse	103	12	0	9				27 4PM	
Barinbusay 岬	340	10	1	10				28 1AM	
Bojeador 岬	330	10	0	15				29 11AM	
南岬南	30	4	0	12				30 8AM	
小琉球 島	90	10	0	9	31	8AM		31 10AM	在沖中... (handwritten notes)
馬公	820	10	3	10	31	7PM		34 8AM	
扶地塔								37 6PM	

豫定航路表

依世保、アリの、仰、侍、居、り

本日各艦長、招集、今、回、の、行、動、の、圖、を、訓、示、す

別紙、海軍、次、官、に、対、し、て、其、要、者、を、軍、令、部、長、に、

電、報、指、令、を、仰、り

廿三日午前海軍次官、此、を、左、の、電、報、を、送、る

今、回、の、南、航、の、好、機、ト、シ、テ、亞、米、利、加、丸、三、十、八、号、丸、二

十、号、丸、亦、尉、隊、補、生、を、乗、組、せ、し、て、實、地、体、習、シ、サ、シ、メ、ハ

頗、り、利、益、ア、ル、コ、ト、信、ス、亞、米、利、加、丸、艦、長、ハ、情、九、艦、長

ハ、前、記、員、數、ノ、教、育、を、兼、務、せ、り、廿、五、日、出、帆、後、定

先、是、小、倉、特、務、隊、司、官、ヲ、彦、山、丸、ノ、支、隊、長、水、補、給

那、ト、シ、テ、隨、航、せ、ら、ん、者、ト、通、知、ら、領、セ、ル、ヲ、以、テ、午、前、左、航、長、及

其、外、長、ヲ、招、集、シ、今、回、の、行、動、の、圖、を、注、意、シ、訓、示、セ、リ、又

海 軍

同船に居る兵僅か一名、こゝに衛生部員一名を兼
船にアサナルは只今小倉特務隊司令官と看し陸軍一名
信号兵二名、臨時兼担シ要求セリ

廿四日午前厚合部長より左ノ電報ヲ歟ス

貴支隊行軍ノ間スル計劃大外ニ於テ同音ヲ表ス

尚確定次第報告スルニ新士加被兼於テ數十艘

ヲ出ル敵艦隊ニ成被スルニ最ニ適当ナル機

ヲ北緯中一度零分ニアルカムヲ海下ニ出シ得ルハ

同地ニ偵察スルニ

海軍次官より左ノ電報ヲ歟ス

亞米利加丸ハ幅九ノ實地練習ノ為メ本所候衛生

兼担ノ件ハ至極同意ニ付必要ナキ限リ便宜ノ為

艦ヲ一時轉業取計ハレシキト云 兼担艦隊司令官

二 震 照 心 垂 けり

依り直に右兩艦を兼担せしむ（キ候補生用ト記す）
分儀及航海層ヲ貸渡サレ度旨ヲ海軍次官ニ
一 震 報 ス

廿五日前解右艦隊及是ヨリ次ノ震報ヲ候ス

中員支隊十兩航中亞米利加丸ハ幡丸ニ味付ノ多ノ
左記ノ通りハ尉候補生ヲ臨時兼艦セシムル旨
心得サシ

亞米利加丸ニ兼艦セシムル者左ノ如シ三等五名格
二三名四等島手名敷島五名ハ幡丸ニ兼艦セシムル
モノ左ノ如シ朝日五名常磐五名浪速三名新島三
名大分尉候補生ハ専支隊尉候ト共ニ各尉艦ニ
復歸セシムル

海軍

本日支隊、航路を別紙添付表、如く破壊せしむ
軍令部長及端大艦隊司令官に報告し又右、
命之及刻急に麾下艦長と共に

南支機隊第一号

南支機隊第一号

昭和二十二年二月廿五日
南支機隊第一号

一 諸情報より推察せらるる浦塩原艦隊にアル敵艦隊中

「ハロモボイ」及「ホカウイ」の二隻は未だ修理を終らざる

艦中、敵第一太平洋艦隊の今尚ホ「マダカスカ」

島北西の附近に在り、鏡意刻然と從事シツ、

アルモノ、如し

二 敵の五名、水先案内者らに使用せしるる艦隊司令官のヤリ

待命せし、西貢上海等ノ各地に於て是等ノ屏害

高等準備日蘭領東印度諸島以東に於て

艦隊を補給せしむるに努む

三南遣支隊ハ我艦隊將未行動に對し敵を察

感せしむ且今後に於て我艦隊に對し支那海南

部諸要地に偵察及敵を其艦隊主力を東洋

東着に先づハバタウヤヤ方面に對し我艦隊

輸送せしむるに並し其目的を以て

別紙強定表に示し此動せん

四 艦隊 運分

第一小隊 一 笠笠 二 中隊

第二小隊 三 重砲艦 四 八階丸

第三小隊 五 砲艦 六 砲艦

戰鬥速力十八節(第一小隊に於ては) 徹速力 四節

海軍

左 十五節 陸軍航空隊の編制

四節

原速力別 紙簿定表と扱ハ

五 飛行序列

第一第二隊ハ常駐高島軍機陣トシ陸軍航空隊ハ通
制隊ニシテ後方行々米突と在位スル

但シ平常飛行隊ハ山形水戸節行々メ距離ハ
陸軍航空隊キリ五ノリ西也ス

六 戦策

豫定スルナリ備機ト之シラセントス

第一飛行隊ハ官出羽軍遠

南支機客名二

刻示 陸軍航空隊の編制

支隊ハ將ニ南洋ニ向テ機動セントスルノ機ニ臨ミ左

二 敵項シ列能シ以テ各艦長ノ注意ヲ喚起セトス
 一 今回志願ノ好機ヲ利用シ下級將校ハ航海術
 操艦ノ目的ヲ以テ天測ヲ力行シ且ツ風浪潮流
 及港灣ノ形状等ヲ習熟セシムヘシ
 二 敵ノ耳目ヲ疑惑スルノ目的ヲ以テ支隊ハ四方
 に出動セシ價値カナル我艦隊ノ分遣隊ナル如ク無
 線電信其他ニ依リ得勤セトス
 三 天候ノ異変其他不測ノ慮セリカ爲メ炭水部
 的ニ用意セシムルヲ要ス
 四 并戦後一年有餘ニ及ブ海上ノ勤務^勞ヲ未ダ休
 養^休取^取得^得スルノ邊^邊アララスヲ將ニ氣候ノ急^急轉^轉ニ遭
 遇^遇セトス此^此レ又戦^戦ノ前途^{前途}ハ頗^頗ル遠^遠ナリ故^故ニ目
 下ノ要務^{要務}ハ身体^{身体}ヲ健全^{健全}ニシ士^士ノ氣^氣ヲ振^振興^興シテ謂^謂

海軍

一身心完美以テ来航中ノ敵艦隊ニ對シテ意氣ヲ
保持スルコトアリ各艦長ハ此際最モ乗員一敵ノ傷
生コト留意シ特ニ機庫部員ノ慰養安衛等ニ注意ス
ルコトアリ

五、此行動中本邦トノ通信連絡ハ極メテ不便ナリ敵
我ノ討斃力及其他ニ於テ如何ナル害化ヲ生ズルヤ
ヤリ保セズ各艦長ハ豫メ此等ノ留意ニ置カントシ
望ム

第一艦隊司令官出羽重遠

午後五時左ノ大本營訓令ヲ受ケテ

大海訓令第十七號

訓令

一、貴官ハ伏見深出後約五週間以内ニ同地ニ歸

着、豫定り以テ軍艦並星午年役装巡洋
 艦亞米利加丸ハ胸丸ヲ有ル支隊ヲ率テ大海訓練
 十六號訓令ニ其年速ニ往世保ヲ獲ル馬ヨリ海軍支
 那海南部ニ向テ作動スル
 二支隊馬公由若後確實ニ大本營ト通信連絡
 リ豫期ニ得ル地矣、其欲新古彼及英欲
 子ヨ島北郭ノゴバメントス支隊ハ是等ノ地矣、
 於テ第一回ノ通信ヲ終リシ後尚ホ支那海南部ニハ
 動ルニ場存ニ積存リテ大本營ト通信連絡ハ一週
 日ヲ越サレ期間ニ於テ之ヲ保持スルコトヲ努力スル
 三貴官ハ往世保出發前支隊ノ豫定行動及大本
 營ト通信ヲ豫期スル地矣並ニ其期日ヨリ報告
 スル

海軍

明治三十四年二月廿一日

東京大本營に於て

海軍大臣東郷平八郎

第一艦隊に於て出陣の旨を達す

二十六日各艦遠航準備完了中ニ亞米利加丸及ハ横

丸ニ乗組員ハ午後八時頃より出陣す

葉艦ニ別署及航海暦ノ一部ハ吳測器庫より一部

ハ依世保測器庫より供給す又ハ支隊長ノ勅令に於

て二月廿七日午前八時ニ確定す之より軍令部長及

隊長艦隊司令部に報告す

午後九時方今軍令部長より右ノ電報を受く

佛國巡洋艦「トリス」号ハ安南海山仔に於て暗

手券ノ多ク四艘集結
俟命人至リ候

望遠

手帳

日本郵船

船名

横濱分社印刷

礁に船を離れ底五十米突計の錨投し目下西之島にて
 板橋議らかつツ・アリ又同國駐米軍巡洋艦のレモリ
 ン号を二月十号ナニカ頃安南沿山岸にて暗礁に突
 り上ケリキ船中困難ナリトノリナリ佛國軍令
 三六ノ出来事ハ安南沿山岸ノ海商不発金ナリノ
 シナラズ同地方ノ危キ山石甚ク多キガ為ニ起リ
 ノナリト云ヒ云ケリトナリ
 ンヤトールノールニ号ハ支趾支抑沿山岸ノカ
 ンラシ
 博口ニテ昨午土日モ暗礁に突キ又「ユリ」号ハ
 東ノ島「アロ」号に沈没ス暗礁ニ突キ又「ユリ」号ハ
 依テ航路上一於ケル庄屋見テ喚起セムンガ
 西ノ島ニ於テ各艦に傳示セリ
 支隊ノ出発

支隊

自水世保至馬公

二月廿七日曇 風向北西四五 溫度五十二度

全文

イキル

午前七時世分笠置子為八幡丸八幡丸山丸ヲ率ヒ豫定ノ如ク
出帆南航ノ途ニ上ル

~~其ノ後...~~

~~修理...~~

原速力十哩

午前八時四十五分比島ヲ南ノ西ノ西ニ見ル地ニ於

テ南四十一度西ニ是針文

イキル
正午離作南東ニ偏スル時南四十四度西ニ

変針ス

二前日來天候不穩故警報アリ北西風連吹雨雲滿天時

ニ烟雨ヲ来シニ五島列島ノ風下側ヲ航スル間ハ波濤甚

夕高カラサリシモ午後二時其風下側り脱スルに至リ風

浪漸ク大ニ船ノ攪動十五度有リ二十度ニ達セリ

午後五時四十五分男女群島女島島嶼北五十六度

西五十四度見ル事未ナク南六十四度西ニ度針黒山

島燈塔ニ向リ

彦山丸速力遜リ漸次本隊ニ後ニテ追隨困難ナルヲ

認メ此地ニ命シテ單獨馬込ニ回航セシム

廿八日天候曇 風向北西 温度四十九度

夜来風力稍衰シモ前日来ノ波濤尚来ヲ収メラズ

船揺常ニ十五六度ニ達セリ

午前十時北緯三十一度四十分東経百廿五度三十分附

近ニ支那船二隻ヲ觸泊スルヲ認ム

十時三十分速力ヲ増加シテ十哩半トス

午後六時南四十度西ニ変針牛山島燈塔ノ南東十
哩ニ向テ陣形ノ大光録儀ノ陣形トナリ
夜ニ入り風向亦次ニ右回シテ北トナリ船一動揺稍減ス

三月

一日 天候曇晴

風 北東四七

温度

四十七度

午前三時頃月ノ風向北東ニ変シ既ニ信風ノ吹域ニ入ル
船駛稍加リ推程儀ノ指針毎時十哩ヲ示スヲ見ル

午前七時頃カレタ信風ニ依リテ

正午船位ヲ推測作果逆ヨリ東ニ偏スルカレタ

針路ヲ南四十六度西ニ変シ牛山燈塔ノ南東約七

哩ニ向テ

午後ニ至リ北東信風漸ク其力ヲ加テ波浪高起時ニ

飛側ヲ超越シテ甲板ヲ^洗推進器ノ空轉リ感スル

ノ類繁ナリ

二日天候曇雨 風向北東^{北東} 温^温 湿度^{湿度}

午前三時十分牛山島ノ燈光ヲ右舷船首約三葉ニ

察見ス微雨降ル至ル

四時五分牛山島燈光ヲ右横約八倍半ニ見テ南廿一度

西ニ麥針目斗收燈台ノ西十里ニ向ッ波浪風力水道

ニ接近スルニ從ヒ次第ニ高ニリ推進器ノ空轉船搖ト共ニ

増大^{増大} 船^船 揺^揺 ト 共^共 ニ

七時十分通霄望樓ノ西北西約五十里ノ地ニ^於同望

樓ト通信ヲ試シ^海 異状ナキノ報ヲ得タリ次ニ同望樓

ヲ以テ左ノ電報ヲ大本營ニ發セシム

南航支隊午前十時鳥丘收沖ヲ通過ス

海軍

次テ拱北無線電信新ラ呼ニ通信ノ試驗ヲヤサシ
セシモ同望樓員ノ望望機動ハ付テ知ラサリシ
爲メ持込スルニ至ル迄之シラ果サリシ

午後零時五十分目斗改燈台ヲ濃氣中ニ南東々東

七哩ノ費見南西々西ニ変針ス

零時五十分車隊陣ノ中ニ四十五分南海次媽宮港向

半時五十分旗艦ヲ迎テ進マシメ綱導船回天ノ嚮

導ニ依リテ入港三時八分媽宮港ニ投錨ス

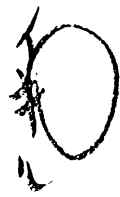
要塞司令官陸軍少將中田時雄及島司令小林三郎

其他重ナル要員ヲ訪問シ受ク

嚮キニ馬公要港部司令官ニ補セラレタル松永海軍中

將ハ亞米利加ニ便乗當地着午後退艦赴任

將旗ヲ陸上旗竿ニ揚ク依テ直ニ十五夜ノ礼砲ヲ奏



上り同敷ノ答破ら受り

本夜艦外に現ハル燈火ら減シ險路ハ一時以内ニ十哩

ノ速カリ出スノ準備ヲナシ置カシム

午後一時香山丸着艦外ニ碇泊ス

航路天候海流

豫定航路ハ東信州ノ東吹込域ニ支那海流

流域ハ曉キカ省黒山群島に向ヒ艦位ヲ確認シテ

支那沿岸行リ南下スルコアリシモ廿八日幸々雲間ニ日影シ

認メテ天側ヲ行ヒ艦位ヲ確認シテ及チ對海流ノ

流域外ニアルヲ知リ午後六時ヲ牛山島ニ碇泊シ二日

同島燈塔ニヨリ艦位ヲ確メ目下波燈臺ノ西方ニ

向リ此航路ノ初半途ハ北西風連吹其力四乃至五

ニ達シ風向航路ヲ横切リテ頗ル艦ノ動搖ヲ感セリ廿八

二八
三

横濱分館白紙

1079

日黒山群島ノ東南東約五十里ノ地矣ヨリ風向漸次
 右回シテ北トナリ遂ニ北東信風ニ成リ且湾海騰味ニ
 接近スルニ從ヒ信風漸ク其力ヲ加ヘ牛山島燈臺以南
 ニ於テハ六乃至七ニ達セリ海流ハ概シテ風向ニ左ニセリシ
 北西風中ハ一昼夜南東ニ七海里ノ速カク以テ
 流レ北東信風ノ吹域ニ入レニ從ヒ南西流トナレリ航速全
 程常ニ曇天ニシテ屢細雨ヲ来スニ艦揺頗ル大ニナリ
 味飛海流ノ速カクニシテ長夫測者ノ地物ニ依
 リテ航路ヲ得ルニ幸ナリ
 三日天候曇天 風向北ニ東風力甚一四 温度六十六度
 午前八時彦山丸入港 望遠ニ横付ニシテ石山及百物ヲ拾
 シ候々午前十時ニ二百物ヲ拾 午後八時及百物ヲ拾
 和峯ノ塔燈ヲ御キ午前八時頃 午後七時頃迄ノ



間二百六十艘ヲ積置キテ此石炭ハ人夫ノ手ヲ以テ

七八五ノ二コトヲ陸上ヨリ積込ハ午前中ニテモヤリ見ハ

岸ハ船員ノ全方ヲ以テスル中一日ニ積込ノ数ハ

出来得クキモ、如シ目下要港部ニ於テハ

設備ハ左ノ如ク

六十噸積 一隻

三十噸積 二隻

他ニ要員人ヲ有ノ二十噸乃至三十噸積ノモノ

貨アリト云フ

午前九時要港部司令官要港司令官及島廳

ヲ訪問シ午後要港部司令官ノ答ヲ受ク

本艦長及航海長ヲ招集シテ積込ノ事及積込

路ニ関スル訓示ヲ受ク

四日午前八時確定ス

夜に入り風勢漸次増加シテ其力七ノ達ス

午後十一時海軍部次長ヨリ左ノ情報電報ヲ始ス

一敵第三艦隊ハ二月廿七日佛國ノコブルグーノ沖ニ在リ

山々搭載ノ上飛海ヲ経流スリ又敵ハ戦術艦ヲ四

アララサントルニ世巡洋艦三隻水雷砲艦三隻駆逐

艦四隻ヲ以テ第四艦隊ヲ編制シ泰西ノ準備ヲ着

手セリト云フ浦垣及「コガカスカル」方面ニ在リ敵ノ動

静ニ察シテハ其後情報ヲ接セズ

二敵國不明ニ於テハ驍吼ハ尚継続シ西比利亞鉄道ノ

輸送ハ大ナル停滯ヲ生セシモノト云フ

三第二艦隊司令官古賀ハ本日より以來北韓場道艦隊ヲ城

津に陸揚中ニシテ不明四日終了、皆其他艦隊

ノ配備ノ異動ナシ

此電報ハ先任英艦自ラ却スル

海河方面ニアル我艦隊ハ敵ノ西翼ヲ包圍シ二日廿
八日全線一旦ニ攻撃ヲ始メ目下交戦中右未發着
ニ付地ニ漏レサレラ聖ム

自馬公至新嘉坡

四日天候曇 風向北西七ノ八 温度 五十九度 五十三度

午前十時半 港外 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺

半道大砲 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺

東洋 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺

次陣形 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺 砲臺

針路ヲ西ノ南ニ定針ス 夜来北東風強吹港内ニ吹

海軍

テモ陸上トノ兼^文通儀取ント困難ナリトシテ澎湖島風
下側ヨリ出ツルニ及ビ高浪長浪右舷正横後ヨリ来リ
船揺頗ル大ニ乗ルニテ五度ノ達スルヲ見タリ原速ヲ

九曜

正午降度ヲ測定シ時辰一時間十六分ヲ後ラシ予地方面時

~~波トシテ高シ船尾大ニ揺レテトナシ同時南七十度西~~

ニ波針ス於是船揺稍減スルト共ニ船尾右舷ノ壓

スル風潮ハ雨ナカク船駛リ助ケテ速力十哩ノ達シ又

著シク風壓差ノ増大セリヲ感セリ

練級 午後四時廿五分頃ノ番早車繰陣ノ制キヨク外船ノ車

~~第の五南米米トス~~

七時十五分ヨリ五ツクニ燈光ヲ右舷船首ニ發見シ八時同燈光

ヲ右舷十八度半ニ航過ス正午ヨリ茲ニ至ル迄船位ノ風

下ノ塵流セラニモ七度ナリ

五日天候曇時微雨アリ風向北東ヨリ西 温度 五十八度 五十三度

前日未風潮ノ艦駛リ助リルト共ニ又風塵差ヲ増加シ

半午前一時頃僅ニ橋樑ヲ僅カニ蓮花峰燈塔ヲシ

左舷正横ニ見テ航過セリ

午前一時一浪船ノ右舷ヲ反航スルニ合ス

七時推定位置北緯廿二度十一分東経百十五度廿分ニ

於テ西ノ南ニ變針ス昨夜来支那船ニ出合スル一

頻ニ繁天明ニ至リ更ニ其數ヲ加フ

七時四十分大青島嶼岩ノ右舷艦首ニ接見シ八時廿分

之レヲ右舷正横ニ合流ニ航過ス機信風ハ大ニ其吹

力ヲ減シ波浪稍収リ今朝ノ候則氣温五十四海水

五十七度ヲ駭セリ

二五

香港附近の航行

海軍



此頃香港附近の航行
シ感度ヤ一ニ熟語の解読スルノ計多ク其
意の解セズ午後二時以降僅カ左ノ信文の解読ス
ルを得たり
Empyrite
Are you satisfactorily Signale broken

隊の長距離電報機が暗に我艦

隊の北附近にあり外洋に於て本隊と通信スルカ

如く装へり

午後五時五十分擴杆島、北東頭より北西四哩を見

南五十二度東之變針海南島、東端鋼鼓南、北東

に向

四時三十分分業
大英國汽船及十隻船不明香港

本隊の後尾の航過

西島

止り見理田
 入る
 不用

六日天候曇雨風候北東
 温度 六十八度
 五十六度
 正子より午前二時、間ニ於テ二小流形ノ及航スルモノニ
 合ス

八時四十五分銅鼓南北東 *Taka* 島ヲ西ニ南十三哩

ニ濛霧、中ニ発見シ南廿二度東ニ変針九時十分
 更ニ南微西ニ変針ス 視察上行動上別ノ利スルニ於テハモキリ認メ同島ニ

豫定航路中ニアル *Tiger* 島 行シテ

止メ直ニ *Tiger* 島ニ向フトシ航路ニ於テ約百八十哩

リ利ニ更ニ速カラシ十哩ニナス中ハ航行日程ニ於テ約一
 日ヲ利スルト十ルヲ以テ午前十一時ヨリ原速カラシ

十哩ニ増カス

午後四時廿分彦山丸船本隊ニ逢シ速ヲ増カシ夕メ
 航路ニ得ズ、報アリ依テ原速カレ候様ナス

五時南廿六度西之表針 凡島南東約十四度ノ
地ニ向ク

七日天候晴 風向北東ニ西ニ度 温度北十八度

緯度ノ低下ト伴ヒ信風ノ吹勢漸ク衰ノ南南沿岸ニ

接利スルニ及ヒ陸山岸ニ並吹スル北西風トナリ温度昇

騰劇ニ暑氣ヲ感ス

◎本 日左ノ刻合ヲ示ス

一 明日八日港灣視察ヲ左ノ妙ヲ豫定ス

二 亞米利加丸ニカムラン港ヲハ幅丸ニウアンコカシ港ヲ

見察シ此間笠置及彦山丸ニカムラン港外ニ午ノ儀ニ

ウアコオン港外ニ漂泊スル

三 本艦側自量不完全ノ疑ハ未知ノ港灣ニ深入セザ

ルヲ要ス又亞米利加丸ノ航飛ニヨリ港内ヲ視察スル

四午後五時に於て集會突つてからこの際外トス
 五入港、目的多揚言するに左ノ要旨より以て之
 我ト同航せん本隊に隨從せん駆逐隊中一艦
 去る六日夜半、風波にて本隊ト分ち萬に未ダ
 復歸せん依り之を捜索せん力有なり
 本日より下士卒に起床時より船床卸迄事業暇り
 准士官以上のカーキ色服及黒服ヲ混用
 此島に雲霧の有る迄、發見する能はず午後一時同島
 西北西約十四哩を見り、推定位置置り南十一度東
 二度針 *Norfolk* 岬沖に向つて天明後、ウアンフオンに港外
 に達するノ豫定より原速カウハ程に減ス
 午後二時十分同島を北西に約廿七哩に發見四時頃
 に至り島南沿岸ノ山嶽より兩雲煙の向を認め

四時三十分
三時三十分
三時

海軍

七時廿分、カンビール燈光り右舷艦首ニ発見十時之レリ

右横十四哩ニ航過ス、島以南南順潮、艦駛ラ助ク

ルモ、毎時三哩乃至三哩半ニ達スルヲ以テ午後八

時速力約五哩トナリ

午前零時三十分、*Yam Fong*、燈光り右舷艦首約

三隻ニ発見二時零分、右燈光り右横十六哩ニ航過ス二

時より五時三十分ニ至ル間ニ航過スルモノ三隻

皆取航セシ *Yam Fong*

五時四十五分、*Yam Fong* 湾外ニ達シ十歳ハ哨丸ノ命ニ

テ離宮、視線ヲササリテ亞米利加丸ニ列ラ解キ先

行ニシテ、カムリシ、視線ホテ命ス各艦、集令所刻リ

午後三時

六時十七分、是置彦山丸ヲ率ヒカムリシ、湾中ニ向テ速力九

理

七時亦分ヨナトランシモ機ヨリ北航スル一大航船及一小航船ヲ認メ

後ニ干歳ノ取納タル報告ニヨシハ小航船ハ佛國ノモノトシ

テ大航船ハ独國ノモノナリシ

ナトラン機ヲ遠敷ルニ「ロ」島ノ南東ニ燈台ラシキ白色

建造物ヲ認メタルハ距離遠クシテ遠ク之ヲ確認スル

能ハサリシ

十時「カムラ」モ機中ニ達シ望置彦山ハ深泊亞米利加丸ハ

進シラ「カムラ」モ機中ニ入リ

午後二時特逸一航船ノ陸山岸ニ停フテ北航スルヲ認メ

二時廿五分亞米利加丸「カムラ」モ機中ニ機視察ヲ終ル兼會

午歳ハ機中九次ヲ来集ス直ニ望置彦山ノ即ニ亞

米利加丸ハ機中ヨリ精糧尚リ取又取ラシム

二六
二五

視察報告左ノ如シ

亞米利加艦長報告

「カムラン」艦視察報告

①

蘭艦ニ佛國駆逐艦「~~イ~~」ヲランシスコ「~~イ~~」号及「~~イ~~」号ノ二隻
 在泊セシラ以テ其先任駆逐艦「~~イ~~」ヲランシスコ「~~イ~~」号ノ二隻
 ニ彼等ノ先ッ程會合スルニ及ビ其先任駆逐艦「~~イ~~」ノ相
 當ノ便直ラ共ツヘリ又利時出港スルマノ間ヲ發セリ依テ小官ハ
 之ニ對シ答テルニ程會合スルニ及ビ其先任駆逐艦「~~イ~~」ノ相
 當ノ便直ラ共ツヘリ又利時出港スルマノ間ヲ發セリ依テ小官ハ
 以テ次ヲ訓令ニ基キ入港ノ目的トスル本艦隊ニ屬スル駆
 逐艦ノ一隻去ルニ及ビ(日曜日)夜暴風ノ為メ行衛不明トナリ
 我支隊ニ專ラウシカ捜索中ナルヲ告ケタルニ彼大ノ同情ヲ
 表シ彼等ハ風波ノ為メ六日ノ港セシニ未タ日本駆逐艦ヲ
 見ス風波風キ吹テ出港スルニ及ビ心當ラ捜索中(キウロウ)

カ、彼等、航行先、明言セカリント、島民、多ク、禁棍、向フ
モノ、加、柔祖、兵員、談話、依リ、策、知、ル、得、ヲ、リ

東岸、砂、南、附近、ニ、洋風、家屋、三軒、外、ニ、倉庫、カキ、モノ、ニ

棟、其他、ハ、土民、ノ、家屋、ノ、モ、コ、シ、ク、兵舎、ノ、カキ、モノ、ヲ、見、サ、リ、シ

居住、佛人、ハ、知、事、共、ニ、三、名、コ、シ、ク、其、海岸、附近、ニ、小、形

「ス、リ、ナ、リ」ニ、隻、荷物、運搬、船、ノ、カキ、水、船、ノ、カキ、モノ、數、少、ク、又

其他、コ、シ、ク、數、隻、碇、泊、セ、リ、二、隻、ノ、艇、逐、艦、ハ、砂、南、ノ、東

岸、ヲ、去、ル、約、千、五、六、百、米、迄、大、ノ、位置、ニ、碇、泊、セ、リ

内、港、ハ、甚、ク、曠、漠、ニ、シ、テ、到、底、瞬、時、ノ、視、察、ニ、テ、ハ、其、要、領、ヲ

報告、ス、ル、能、ハ、ス、墨、尾、海水、ノ、脚、力、黄、色、ク、帯、ビ、タル、其、淺、悔、ナル

ヲ、知、ル、ヘ、リ、又、午、時、ノ、季、節、ニ、於、テ、ハ、北、東、風、ノ、強、吹、ス、ル、時、ト、畢

尾、波、濤、ノ、進、入、ス、ル、ナ、リ、安、全、ナル、碇、泊、場、ナ、リ

港、内、沿、岸、ハ、海、岸、ヲ、樹、木、數、少、ク、砂、南、ノ、外、人、家、ヲ、見、サ、リ

シト蜜尾谷新樹林ノ間ニ煙ヲ昇騰スルヲ見タリ

シリシ島北湾ノ内湾ニ往迎ノ際見通シタルニ携籠ニ土人

家屋ニ三軒ヲ認メタル外異状ナシ

右報告候也

明治廿八年三月八日

海軍大臣伊藤祐兵衛

亞米利加艦長海軍少佐格南

ハ陽丸艦長報告

バンフオンノ湾内視察報告

ホンゴム半島ノ東側ニアルトドイモクノ島ニ海首(望楼)ト認

載セルヲ以テ湾口ニ向テ進航中千里鏡ヲ以テ十里ノ巨島

ヲ見テ之ヲ監視セシト不毛ノ山如島ニシテ旗竿無線電信柱

其他何等ノ建造物ヲ認メズ外方ヨリ湾口ニ向テ進航スル

ニ當リ岡島ヲ北ノ西ニ望ム迄ハ毎時三哩余ノ南向
海流ニ遭遇セシモ此線以内ニ於テハ全ク海流ヲ感セサ
リシ

正ニ此ヲハシク島ニ並バ波浪漸ク兼島南ニ感ラレ騰

内ニ極メテ静穩ノ好錫地タルヲ疑ハス進ニテハホシコハ南

以内ニ入レハ海相変色ヲ呈スルモ水深ニ異状ヲ見ス本

艦ハハコトト島ヲ北東ニ望ム迄測深ニツテ徐航シシニ

イ湾底ト外海トリ今隔セル卑低ノ沙頸地ヲ視認シテ
回頭帰航ヤ

クアラニ島南西の岸ニ強シト人衆ナク只航路高ノ東方

約ニ海里ノ博入ヤ部ハ沙濱ニシテ航路好ム陸上モ

又稍平坦ニシテ民家數軒アリコトハシクハ博錫地中

最良ノモノト認メラル亦對岸ナル半島松山岸ニ多クハ

沙濱ニシテハハルハ土人ノ稍大ナル部ニ在リ「ホニコ」ノ南
ラ過キハシク湾ノ入キ低地ヲ裁ノテ陸上ニ倉庫ノ如キ稍
大ナル建物数軒及「コヤシ」ノ帆船ヲ精製數回ヲ認メ思
フニ之等ハ「ホニコ」ノ港内ノ一部「アノモ」ノ望見シ得サルモノ
ナラシ

「ホニコ」ノ港ニ汽船、定期航海アルモノ、如ク現ニ本艦視
察中佛國ヲ旗掲揚セシ約午時大ニ汽船南方ヨリ因
港ノ入港スルモノニ出立セリ又佛國ヲ旗掲揚ゲタスル
「ナ」型ノ汽船ノ何物カ先實セシ麻袋ヲ積載
せんモノ「バウ」島内方ヨリ駛リ来リ「ホニコ」ノ南附近迄進
航セリ本艦ノ回航帰航セントスルヲ見テ俄ニ追蹊シ来ル
如ク見「タ」ハ以テ本艦ニ一時進航ヲ停止シ之ヲ待受テシ
ルモ咄近傍ニ来リ見物スルニ止リ彼ハ言語ヲ交フルニ至

軍備書

可スニテ航過ニ去レリ然流船ハ長ハ佛人ナリシ此停止中
ハ恰モ振潮ノ半ニナリシカ潮流緩クシテ電モ感セザリシ
要スルニ本湾ニ闊スル地形水深等ニ水路法及海商ニ
記載セシモト對照スルニ格別ノ異状ヲ發見セズ南東
ノ風波ニ隔リノ外ハ餘ク遮テ蔽セザリシ港灣トシテハ良好
ヲ多クシテ失ハズ湾内廣闊ニシテ水深又恰如十ん
ノ次ヲ多敷ク船形ヲ碇泊セザルニ足ルモト認ム
大及敷次々々々

此派世ハナドニヨリ

ハ幅丸艦名海軍中佐川島昌五

七重巡艦隊長友吉阿宗彦

パンチンノ海ビニコイ海及ヒカカエシ港ハ僅ク湾外ヨリ之ヲ見セシ止ニヨリキチ
處、其新機ヲ評定雜ニト並ビ何レモ大船隊ヲ収容スルニ足ラト認ム

真

何レモ

一五

軍

五時航進り北に軍艦軍制六船並航り五時半集

針路東北東速力五里半以迂回針路を執りこゝ漢烟り

張リアル of *Janthak* ^{ボート} 天明後之航過セシカガヤリ

七時南三十二度西に麥針速力五里トス

九時三十分 *Padaaran* 燈光り右横十二里に航過ス

十時 *Padaaran* 燈光り北西に見え南五十三度西に麥針ス

九日天候晴 風向 ^{東北東} 東 温度 ^{八十三} 七十四度

午前一時五十分 *Padaaran* 燈光り右航船尾に失ス順潮

ノ艦駛り助りルノ毎時二里半乃至三里に達スルト共

こゝ又航路ノ左側に一壑流スルト甚クシテ午前一時

ノ航路より *Alfara* ノ南東より東約九里半に推定シ針

路西に麥ス

三時十五分航り及航スル一境航る所

五時三十分運わり九曜半トス

六時四十分 Vice Point Giger 島より北三十九度西五度見

三南四十度西之度針ニ Padawan 甲沖より遠く至る

十三時同之感度七度海流ニ南西より西に流る廿六海里

半より甚つて此際則不完全なる北東信風

吾等中へ航海スル形質ノ最大注意者ヲ拂フニ要ス

少く又 of Outlook Bay 距離十哩以内は澳網り

此よりアル音シ海流ノ流勢ニアレバ今同ノ航海ニ於テハ

一毛測りし所ナカリシ

本日夏季日深り施りニ准士官以上ノ服装ハ雨天ノ

外上白下付着るニカキ服トシ帽等ハ一層夜共々用ス

十時十分 ^{北四度東九度半} 燈台より北に望み見テ南七十三度西に

度針ノ數日未ノ順潮流着て至りテ強ク感セス

海軍

①午後三時十分 *Saint James* 砲台北へ西へ見ゆ南へ
三度西へ射針す

西へ在泊し想是之佛艦 *Mont Calm* 二隻
那砲台を射つ以て左へ無線電信を送る

Mont Calm from Japanese Cruiser. *Commanding*
officer of Japanese fleet present his compliments to
Commander-in-Chief and asks that he will send the
following telegram to destroyer Françoise at Kam Rank:-
Japanese destroyers rejoined main fleet. ()

右電報 午前九時五十分 無線電信

Amiral François au Croiseur japonais paray (不明)
pray repeat messages ()

依子直と二三回前記ノ電報ヲ送信シテ其距離
漸ク遠ク送リ了解シタルヤ否ヤリ知ル能ハス其後約
四十分間連続送信ニ感受セテ無線電信ニ文字ヲナサズ
こ子解読シ得ス

十日天候晴 風向東四五 温度八十四度
東四二 温度七十九度

午前二時五十分 London 群島ノハイクン島燈塔ノ西首ニ有
見二時四十分同燈塔リ南々西ニ見テ南三十六度西ニ
表針又四時四十分西ニ表針五時十五分南三十九度西ニ
表針ス

六時運送ノ針路適ハシクニヤリ島ニ接近ス
香隈丸報告ノ高橋ニハシクニヤリ島ニ接近ス
ニドレ島北西部乃チハシクニヤリ島ニ東七十八度北
二哩四鐘ノ山上ニアル雄メツリ同橋ニ未ク無線電

信ノ級南ナク其附近又一ノ建設物等ヲ認メザリシ

六時四十五分速カクハ節半トナシ七時廿分「シスイヤシ」島

ヲ南七十三度東三鐘半ト見テ南三十九度西ニ定針ス

九時十二分右舷艦首「ガラサー」群島ノ「ツリ」島ヲ

最見ス

午後一時南七十四度西ニ定針七時北六十度西ニ定針ス

八時三十五分北四度東約廿五哩「Pulo Oke」ノ燈光

ヲ発見ス該燈光ノ遠近高約四十哩ナルニ廿五哩迄発

見シ得ザリシハ濃気ノ水面リ西渡ノルカ方メナリシナラシカ

十時 Pulo Oke 燈光ノ右横廿哩半ニ航過ス

十一日 天候晴 風向東ニ三 温度ハ十五度

午前二時三十分北四十六度西ニ定針 Pulo Oke 島ハ

向テ五時四十五分 Pulo Oke 島ヲ離首約十五哩迄ニ

Passage 鳥の太航艦首と発見ス

六時四十五分通跡進下りて午後五時亞米利加丸ハ幡丸

と列り緋首差控をうけ行ハス

八時迄置 Stake Obe 島、西海北三度、後泊直之彦

山丸を横付けし、炭水補充スハ幡丸亞米利加丸ハ

午前十時迄ハ午後自差控にり終り便中置置直、信

りて後泊ス

本日望置炭炭量四百廿噸水百噸日中陸軟風同形

十時連吹其力ニ海面ノ波有リ

中静潮流微弱ニテ載炭甚ク

十二日天候晴 風向東南東一 温度 八十四度 七十九度

午前午後之度山丸より炭水補充ス十時に至りて終りて

炭量二百噸

二五

△ 老

○ 不_レル_ニカ_レ島_ノ附_レ也

去_レ那_レ海_ノ東_ノ信_ノ風_ノ季_ノ於_レ之_ノ所_ノ也_ノ至_レ輕_ノ海_ノ濤_ノ風_ノ見_レス_ノ如_レク

由_レ上_レ平_ノ靜_ノニ_レシ_テ拜_中戴_炭之_遠ニ_テト_認ム_忽反_緯度

徑_ヲ始_末直_射飛_以テ_熱氣_酷烈_ヲ免_カル_然ル_ス

1104

△ 老山丸伴行ノ圖

同船乗組、信号部員

(一等信兵一
二等信兵一
助手)

勤勉職ノ服

通信、遅滞スルヲ從テ同船伴行ノ圖ニ一ノ不便ヲ感セカリシ

惟ニ遠送船ヲ雇入レ、随伴セシムル際、第一ノ注意ニキハ

良好ニ遠送船、信号部員ヲ乗組スルニ在ルベシ

(此船中常ニ航海燈ヲ点シタルハ、随伴上ニ大容易ナリシニ勿論ナリ)

南西北南と發見し西々南と變針ス

三時四十五分右燈光ヲ南々東二哩^四見テ南西と變

針新嘉坡海峡へハ四時廿六分^{Hobbsburgh}燈光リ

東々北三哩回鑑ニ見テ西々南々南と變針ス一航船

ノ發航スルニ會ス

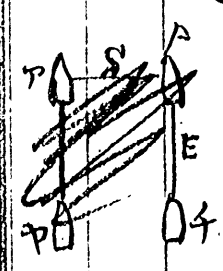
六時速力ヲ十里トナシ漸次新嘉坡錫地ニ向テ轉回院

船^ノ上ニハ未ウ^ノ發航スルニ會ス

七時十五分亞米利加丸^ニ列テ船中自美港心リ行ハシム

八時十八分新嘉坡錫地ニ投錨ス旗艦ハ佐^{John Cannon}

my^ノ西北西三哩一鐘半^際離陸^本本^北



北比及^ノ記^リヲ^ハシ^テト

林毅ノ

皇朝砲台村久ノ答砲台 *of the Camming* 砲台ノ例ノ如シ

船中ニ在リ本砲台ノ對シテ砲台村久十五日ノ答砲台

ヲ

天候風候海流等

馬公出發以來大青碧ノ天ニ並リ吹込ニ六乃至七ノ波浪

北東強信風連吹ニ天氣陰曇時ニ微雨ヲ来シテ波浪高

起頗ル航海ニ困難ヲ感セリ船中乗客仲々過ラレト及ビ

風力衰ヘテ五乃至四ノ至リ海南島ヲ經テ安南岸ノ岸

ニ接近スルニ至リ其力三トナリ漸ク晴天ヲ見ルニ至リ

於是温度俄カニ高昇リ冬ニ至リ一夏ニ至リ夏節ノ入

リ感セリ

安南岸ノ岸ニ於テ水路法ニアル如ク信風陸地遮障ニ

過ヒテ夏節ノ海岸ニ並吹スル北ニ西乃至北ノ輕風ナリ

①

一 Cape Cape Palaran 以西、於其ノ東北東トナリ
 以テ Corral 島附近ニ至リ、False Isle 島以南ニ於テハ
 信風定吹セズ時ニ南ニ西或ハ南東ノ至極風アルル
 也
 海流ニ全航程故ント常ニ順潮流ニ于テ南沿岸ニ
 至ル迄ニ一昼夜十八哩乃至廿七哩ノ流速アリ有シ
 Pac 島以南、Lankip 燈台附近ニ、毎時約三海里夫
 又 Porcella 岬ノ並ニ、毎時約四哩半、以後 Hannon
 灣中ニ至ル迄、毎時三海里ノ順潮流ニ在リ、乃チ Pac
 島岬ヨリ Hannon 湾外ニ至ル迄、同ニ於テハ一昼夜ノ海流
 速カ南ニ東約八十二哩ニ至リ、又 Yone Pacast 島
 南ニ於テハ十三時同ニ廿六哩ノ南西海流ニ感セリ、以後新志
 波ニ至ル迄ハ海流微弱、Ogas 島以北及以南ニ於テハ許
 ノ



東南東流り感セルモ

手挽海南東島遊 於ケル際天ノ方ノ一二回天測ツクキタル

外南下スルニ後ハ天候漸ク快晴トナリ常々天測ヨリテ

船位ヲ確知スルヲ得タリ

廣済分社印刷

1111

新嘉坡

皇礼砲之對其砲之 Shot Carving 例ノ如ク 英艦 砲臺 在泊 亦 砲 對 其 砲 之 對 其 砲 之 行 行

初メテ奉天附近ニ於ケル我軍大捷ヲ耳ニシ

薩務局吏員未飛海味殖民地中ニ宣言(各國中 宣規則十三頁参照)及廿四時内ニ出陣シ要索スルニ公文 〇 齋ス左ノ如ク

Attendants Office

Master Attendants Office

Sir

I have the honour to call your attention to the accompanying "Official Proclamation" (中立宣言 第三) and begive you to depart and put to sea within 24 hours of your arrival at this port. Rule 2, Notification 140

I have the honour etc etc

Preter

送る新聞紙の多

軍

①

軍艦より新門使来船を待つ者あり、必し要する
用務の辨に教時間内に出港スルキ事あり告分艦長ノ
訪問に行動上ノ却むことヲ新泡セリ

頗事田中都去来船左記ノ情報ヲ得タリ
蘭領東印度諸島中蘇島大刺ノアキ正シ其他
七ヶ処ノ商長ノ下ニアルノ厭ニ仲國ノ保
衛ニ属セリテ、若シ帝國政府ニシテ必要
諸リハレズ、宗教上ノ関係ニヨリ土耳其領ヲ獲リ更
リハ精ナルに

間謀トシテ、ガガスカルニ放テアル

Shoydajit ヨリノ九日發電報ニ據リ、敵大軍
第二艦隊ハ近ニ出港ノ際定ニ其期日頗ル切迫セ
リト云フ

新嘉坡佛國領事某之敵艦隊之供給スルノ目的
 シ以テ昨年来歸マシテ糧倉ヲ糧船ノ多數ノ支那船
 シ痛クシテ之レヲ西貢ニ運致セリ既レシテ旅順ノ陷
 ヲ後ニ若シ二艦隊ノ未航ニ何レノ時ニアルヤリ知ラサルノ
 形勢トナリ剩ハ十餘萬ノ兵艦全ク阻礙シテ前進
 退窮シ先頃遂ニ自殺セリト云フ尔後右日誌敵
 艦隊之供スルノ目的ヲ以テ糧倉ノ輸送ハ強ント斷
 絶セルモノト如シ
 用義以來新嘉坡西貢南洋等ニ於ケン出稼人ヨリ
 軍糧全トシテ漸納ラ申出ラタル金款ハ既レ一万圓ニ
 達セリ而シテ其出金者之重ナル者ハ醜業婦ニアリト
 云フ

午後領事退艦七艘ノ礼砲ヲ以テ送別請用ナリ

本職ニ田中領事ノ供トテ糧倉ヲ訪問ス

七

二

△多岐の地ヲ
シシガホー
フリイプ
記者 (M. M. M.)

Makke pass) 三井物産社社長ト共、手紙ス

開^ス幸^ハ福^シト
社^ノ改^メ一^ト種^々博^クル^{コト}ト
我^ガ戦^ハ敗^レ及^ビ我^ガ
勝利ヲ以テ怡^シト
自^國ノ

橋^ノ國^ノ對^シテ、^ハ々^々感^ヲ余^リ殊^ニ、^ハ前^記新^聞ハ其^ノ甚^クル^{コト}ヲ

妻^ノ家^ノ入^リ洗^ハ多^ク、^ハ同^ノ新^聞ヲ見^ルニ至^ラニテ少^ク笑^ハセ^ル也^ト、^ハ遺^恨ナ^リ

飛年時自願者三井物産在り此依頼輸入も飛年時
新物種草等も亦輸入あり

海味殖民地貨幣制度實施の結果海濱地官商に於ては

殖民地貨幣敬にアラセシメ受領セサルに至リ電信局の

如きも此り但し陸軍上と於ては英貨墨貨尙流通あり

夕刻發行の Strait Times 左記事あり若考ノ為ノ

茲に抄訳ス

日本軍艦到着廿二隻、艦隊今朝七時廿分頃、オ

ートカンミンタレノ信号手ハコラツフルス燈台附近に飛スル日

本軍艦ヲ視メタリ右誌艦ハ正に入港シツコアリモノニシ

テ八時廿分に到リ三隻ハ距岸四哩半ノ鎬地ニ投錨

セリ其一隻ハ海軍中隊旗ヲ掲揚シアリシヨリ英艦

ハ七一ノスハ之に對し副規ノ礼砲ヲ打テ日本軍艦ヲ答

砲や又皇礼砲に日本軍艦トフトオトカンミシトノ間ニ
 於テ交換セラレタリ日本軍艦ノ乗員ハ大ニ人心ヲ引立テ
 (以下略)云々船隊ハ封鎖命令ヲ受テ二月十五日休世保ヲ
 出發セリト云フ
 汽船 ~~Hor~~ ^{Hor} ~~War~~ ^{War} 一船云々 ~~Shelton~~ ^{Shelton} 船ニヨリ同船ハ
 本日午前一時三十分、軍艦ヲ見ル日本船隊ノ間ヲ
 通過セリト云フ ~~在~~ ^在 船隊ハ其時 ~~該~~ ^該 船ニ近接
 シ居リシモ他ノ船隊該船ニ遠カシ遠隔セリト云フ ~~其~~ ^其
~~War~~ ^{War} 一船ノ間ヲ航過セル時日本船隊ハ探海燈
 ヲ點セリ此船隊ハ東風大ナル事云々ト信セらん云々
 人カ先頃接受セシ東風大ナル事二月十五日ハ以テ封鎖
 命令ヲ受テ休世保ヲ出發セリトノ電報ハ注意スルキ報
 置ナルト云入港船隊ハ本日午後出發ノ協定ニシテ行

△多也、伏泊後、二隻海上、警業、疾艇、帶、之、文、隊、周、圍、ヲ、巡、邏、セ、リ、

同、德、於、之、嚴、正、中、立、ヲ、守、リ、一、滴、水、一、粒、ノ、肉、軟、ク、之、ヲ、而、交、戦、國、

軍、隊、供、給、セ、ス、ト、公、言、セ、リ、

其、航、空、力、ヲ、示、シ、生、物、學、者、ヲ、殺、シ、

1119

海軍

海軍

先地ニ勿論大北の秘名ニ属ス(中略)此艦隊ハ恐クハ
先頃香港ノ南方百哩ニ認メタルモノナルコト

注外十日午前香港ノ南方ニ於テ廿二度ヲナル日有

艦隊ヲ見タリトハ

自彰ガ坡至ラフアン

午後六時十五分出港ラフアンニ向フ針路東速力十哩

半八時三十分 *Hobbsburgh* 燈光ヲ東々北々北ニ發見東

北東ニ發針ス

十時速力ヲ十一哩トナシ十時廿分 *Hobbsburgh* 燈光ヲ南ニ理テ

見テ東々北ニ發針ス正子迄ニ航程三隻ニ至ルヲ

十六日天候晴 風向東ニ 温度八十六度

午前一時四十分一航船ノ反航スルニ於テ六時廿六分左舷艦首

三架 *Hobbsburgh* 燈光ヲ見テ八時廿六分ニ北三十度

東十一哩に見る北八十度東之麥針ス北時五十分馳北島

ヲ東北島之認め十時四十分一英國汽船ノ及航スルニ在

ス

午後零時廿三分ノ島ヲ南三十七度東之認め

先鋒艦次陣形トシ候補生信子我古ヲナシ

五時十分望洋

七時三十分ノ燈光ヲ左舷艦首一葉ニ見

九時五十分同燈光ヲ北に西九哩に見る北六十一度東之麥

針ス

十七日天候晴而波風向北東三三 湿度心十九度

午前五時三十分 *MacLundam* 島ヲ左舷艦首三葉ニ見

見五十五分ニ北六東六東八哩半に見る北東六度

二麥針 *MacLundam* 島ニ半低ナレ候

二時光より之しり観測スルを得り二時四十分本船

首よりホル子ノ鳥 *Tanlong Ape* 附近陸路ヲ得ル四時

四十三分 *Tanlong Ape* 北西十六哩 推定位置ヨリ

北六十五度東ニ表針ス

午後五時三十分 *Cape Sime* 北西十九哩 推測 位置

於北七十一度東ニ表針ス日際ニ ~~北~~ 北

北三十一度東ニ表針ス

北三十一度東ニ表針ス

北三十一度東ニ表針ス

十八日晴 雨霞 風向北東三一 温度八十四度

昨日来、際雨霧依北ト多 地物ノ望遠ヲ妨ケ午ノ八時

北緯四度四十分 南五十三度廿八分 推定位置ニ達シ

北五十三度東ニ表針ス八時四十五分 速力ヲ十哩半トス

午後二時北緯五度廿二分東經百十一度三十分たゝる

達シ北八十八度東之表針八四時廿二分初メ

Kuraman 島の右舷船首約十四哩ニ至見シ次ニ *Falawan*

島 *Rusurpan* 島 *Pisang* 島 *Pisang* 島 漸次港内ニ中ニ

見ス乃チ交叉方位法ニ基テ船位ヲ推シ漸次港内ニ

向テ六時十五分 *Obana* 岩ニ着岸後漂リ南ニ東一哩ニ

見テ東ニ表針 *Buwal* 港ニ入り七時五分 *Nitavia*

港ニ投錨ス旗艦燈消位置 *Pakman* 燈塔

西南西に南九哩に碇泊す如し



海軍

航路天候風向海流等

航路に常と海面と詭載シパル航路線ヲ追航シ以テ
 官シ沖ニ至リ天候に常と晴天僅カク一回ノ輕微ナル
 驟雨ニ遭遇セルアルモ新嘉坡ヲ出テヨリ *Victory*
 島ニ至リ頃迄ハ東乃至東北東風ニシテ *Borneo* 沿岸
 ヲ航スルニ至リ北東風トナリ常と二乃至三ノ力ク吹テ吹
 流ヤリ海流ハ *Victory* 附近迄毎時約〇・六哩ノ東流
 ヲ感シ夫レヨリ又東ヲテ官シ沖ニ達スル迄ハ微弱ナル
 不定流ヲ感セルノミ蓋シ海流ニ流ノ勢力一四ニ相影
 響スルノ地ナラシムルモノカ「官シ沖」ニ至ルニ及ビ初メテカ
 許ノ西流ヲ感ヤリ

新嘉坡
 官シ沖
 海流